

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 萩原 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<p>男子はほとんどの項目で全国の数値とほぼ変わっていないが、「地域のスポーツクラブに入っている」の項目が若干数値が高く出ている。地域のスポーツクラブや習い事の関心・意欲の高まりがわかる。女子は「運動やスポーツをすることが好きですか。」「あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか。」の項目の数値が、男子に比べると全国の数値よりも下回っている。ただし、男女ともに体育の授業の最後に、学習したことを振り返る活動があることで、できたり、わかったりすることがあります。この項目の数値が高いことから、体育学習の取組の成果が出ていると思われる。ただし、睡眠時間やスマホの時間の数値が高く、児童の生活習慣の改善への学校の取組を考えることが、課題である。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・機会をとらえて、個人でできるようになったことや記録が伸びたことをほめたり、クラス全体でできるようになったことを認め合ったりすることにより、より運動が好きな児童を育てる。
- ・準備運動でしっかり汗をかかせ、1単位時間の一人一人の運動量を十分確保する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・スポーツフェスタ(体力テストの項目をピックアップ)の実施(11月)※長座体前屈の数値が全国平均より低かったことから柔軟性に課題があると分析。
- ・ランニングタイム(5分間走)の実施(1月下旬の2週間)※50メートル走・反復横跳びの数値が全国平均より低かったことから持久力・走力に課題があると分析。